

さぬき

第 17 号

発行者

社会福祉法人 弘善会
児童福祉施設 讃岐学園



小規模グループケア施設

児童福祉法が制定された昭和22年（1947年）頃は、戦争によって、天涯孤独となった子どもたちの養育が社会問題となっていました。それから六十年たった今、家庭は、核家族化して少子化が進み、近所づきあいがなくなり、この結果として、親、家族、近所の人々、いわゆる社会の子どもを育てる力が驚くほど弱くなりました。

このことは、児童養護施設で生活する多くの子どもに保護者がいるということにも表れています。社会が担っている「子どもを育てる」という大切な役割が弱くなったことが、「子どもへの虐待」という大きな社会問題を引き起こしています。

保護者がいながら、一緒に生活できない子どもは、家庭復帰への願望が強く見られ、虐待を受けた子どもは、大人や社会との関係がうまくつくれません。いずれの子どもも施設での集団生活になじめません。これまでの施設のやり方には限界が来ています。

これからの施設は、施設を小規模化するなど、できる限り、家庭的な雰囲気の中で、職員との個別的な関係を大切に生活、小規模なグループでの生活が求められています。

讃岐学園では、小規模グループケア施設が、日本自転車振興会の競輪補助事業と讃岐学園後援会からの寄付金を得て完成しました。今年、8月から、6人の子どもが生活しています。

園長 土釜 一

寮長 家庭支援 斎藤 鈴代

「今年度の取り組みについて」

今年八月に待望の小規模ホームが開設されました。

児童六名定員、より家庭に近い環境での生活が実現され、処遇の効果もあるものと期待しています。それに伴ない、大舎でも今以上にきめ細やかな関わりを目指し、昨年度より話し合いを重ねた結果、従来の幼児寮・学童寮から、幼児・小学生・中高生に分け、年齢に応じた専門的な関わりを充実させる事にしました。小規模も含めた四つの部門がそれぞれ独自色を出しながらも、協力・連携していく為に、調整役として寮長職が新たに設けられました。私自身はまだまだ勉強不足な未熟者で、大役が舞い込んで来た事に大変恐縮していますが、気がつけば就職して二十二年、実に人生の半分の歳を讃岐学園に育てられた事を思うと感慨深く、これまで温かく御指導下さった阿部前園長をはじめ諸先輩方、いつも助けてもらっている同僚職員たち、出会って来た多くの子どもたちに感謝しながら、これからも人と人のつながりを大切に



して職務に臨みたいと思っています。

また、この事は家庭支援専門相談員として、保護者対応業務に当たるに際しても同様です。核家族化・プライバシーの重視等、社会やライフスタイルの変化による様々な事由により、社会的にも精神的にも孤立しているケースが多くなっています。保護者の中には既に私の子ども世代もちらほら：「お節介で口うるさい話好きのおばちゃん」としての活躍の場を模索している所です。

よろしく願います。

学童寮主任 個別対応 坂田 宏文

「今年度の取り組みについて」

今年度、私は学童寮主任と個別対応職員の兼務をすることになりました。だから、二つの顔を使い分けて行こうと思っています。

学童寮主任としては、「子どもたちの怖いお父さん」役として、子ども間のトラブルに関わって行きたいと思っています。子どもたちの担

当の先生は、『子どもたちの最後の砦』として、最後まで子どもたちの味方であり、フォロー役になってもらいたいと思っています。

個別対応職員としては、個別面談等で聞くことに重点を置き、子どもたちの内面を上手く引き出せるように、穏やかに働きかけをしていきたいと思っています。



また、サポート職員の本来の目的である、直接処遇職員の手助けができるように頑張っていると思っています。

子どもたちが安心して、落ち着いて過ごせる環境作りを目指して仕事をしたいと思っていますので、今年度もよろしく願います。

中高生寮主任 野瀬 由華

「中学生・高校生寮での取り組みについて」

児童養護施設で生活する中高生の中には、将来施設から社会へと自立して行く子どもが多くいます。中高生担当職員としては、そんな子どもたち一人ひとりと向き合い、サポートして行きたいと考えて関わっています。



中学生に対しては、高校進学を視野に入れ、学習指導を充実させることが当面の目標です。しかし現状は毎日の宿題で精一杯・・・なかなか難しいなというのが本音です。また、小学生の時には職員が手助けしていたことも、中学生になると自分でしていくようになりますが、いざ実践となるとまだ子どもたちには難しいようで、職員は叱ることが多く嫌な役も増えましたが、大切なことなので心を鬼にして生活面の指導もしたいと思っています。

そして高校生は、学校生活以外にも卒園後の生活に向けて自立支援に力を入れなくてはなりません。子どもと職員で話し合って、将来に向けての目標や日々の過ごし方などを考え、必要な助言や援助をしていくつもりです。一人暮らしに向けた練習も必要だし、貯蓄をするためには早い時期からアルバイトをする必要があります。しかし現実には将来やりたいことはなかなか定まらないし、アルバイトに興味は持っ

てもいざやるとなれば前に進めないという子もいます。自立を控えているといっても、まだまだ子どもとして甘えたい部分もあるはずで、仕方がないことなのかもしれません。しかし時は待ってくれず、厳しい現実を同時に伝えていくことは難しいと感じます。

中学生・高校生ともに職員として目指したいことは多くありますが、日々慌しく過ぎてしまつて、なかなか思うようにはいきません。でも、中高生担当というグループができて、良い意味で変わったなという思いも私の中にあります。昨年はできなかった宿題が、今年ではできるようになった子、自分の気持ちを職員に話してくれるようになった子など、本当に少しずつですが進歩もあると思います。

中学生・高校生は思春期真っ只中の多感な時期です。進歩ばかり期待しても、足踏みしたり、後戻りをしなければいけない時があると思います。日々の何気ない関わり、その積み重ねを大事にしながら、子どもたちの成長を支えていけたら良いなと思っています。

小学生寮主任 六車 由佳

「小学生寮での取り組みについて」

毎日、元気いっぱいの子どもたち。喧嘩も絶えません。怒ったり泣いたり、笑ったり、表情豊かである子どもたちと一緒にいると、あっという間に一日が終ります。何の悩みもないように見える子どもたちですが、この子どもたちが抱えるものは大きく、小さな体で、抱えきれないほどの思いを持ち、もがいています。



人間は、一人ひとりが生得的可能性を持って生まれてくると言われていますが、この可能性は環境からの影響によって引き出され、能力となって現れる場合もあれば、引き出されないままの場合もあります。豊かな心を育てるためには豊かな経験が必要です。心身のふれあいを多く持ちながら、また前田小学校や地域の方々に助けってもらいながら、一人ひとりの可能性を引き出していきたくと思っています。毎日の生活・さまざまな経験が学びとなるようにと願っています。

家庭とは心身ともに休むことができ、養ってくれ、助けてくれるところだと思えます。集団生活ではありますが、より家庭的な環境を整備し、ゆったりと安心して過ごすことができるようにしていきたいと思っています。また、環境の一つが私たち職員です。今を一生懸命生きるこの大切さを伝え、前を向いて生きていける強さを持つてもらいたいと思っています。心に響くかわりを持つためには職員がありのままの姿で、それぞれが、その人らしく生きる姿を見ることが大切だと感じています。

基本的な生活習慣づけや挨拶・礼儀・公衆道徳など教えることも必要ですが、根っここの部分を強く養っていきたくと思っています。草木も根っこがしっかりしていないと枯れてしまいます。厳しく叱ることもありますが、笑顔をやさしく、子どもの心に寄り添い、共に考え・支え、子どもも職員も、一步一步成長していきたくと思っています。個性豊かな職員ばかりですが、みんなで力を合わせ、居心地のいい場所づくりに励みたいと思っています。また、私ごとですが、感性を磨き、いつでも新鮮な自分でありたいと思っています。

不器用でもいい。失敗を次に活かそうと努力出来る人になってもらいたい。嬉しいことや苦しいことを素直に話せる人になってもらいたい。相手の気持ちを考えられる子になってもらいたい。そして夢を持つてもらいたい。

たくさんさんの願いをこめて・・・

幼児寮主任 小屋敷由花

「幼児寮での取り組みについて」

幼児寮は十四名の幼児たちで四月をスタートし、現在は二十二名に増えました。疲れを知らない子どもたちは本当に元気で、静かなのは食べているときと寝ているときだけです。

これまでも、前田地区にある保育所の子どもたちを招待して一緒に遊んだり、「ときわ会」のお年寄りの方たちと歌やゲームを楽しんだりして、年に三回の地域交流会と、夏休みの足浴場の開放等を行ってきましたが、今年度から、月一回特別養護老人ホーム香色苑を訪問し、

入所者の方たちとの交流も行っています。歌を披露したり、一緒に折り紙を折ったり、絵を描いたり、パズルをしたり、わずかに二時間弱の訪問ですが、名前を覚えてもらい、次の訪問の際に「○○ちゃん」と声をかけてもらえるようになりました。涼しくなってきたので、香色苑の外出に合わせて幼児寮も外出をして、公園等で一緒に散歩をする計画もしています。学園に来ていただくだけではなく、どんな地域に出て行って、たくさんの方たちとのふれあいも大切にしたいものです。

また、昨年実施していた花や野菜の栽培を、今年度はさらにグレードアップしています。裏庭には、子どもたちと一緒に、煉瓦をセメントで固めて花壇を作りました。4月にはチューリップ、5月には矢車草が咲き、グリーンホームを利用した際には、収穫した玉ねぎがハンバーグやカレーなどに变身しました。もうすぐ食べられると期待していたイチゴがいつの間にか消えてしまったり、枝豆の双葉があつという間に枯れてしまったり、人参が5センチくらい大きさにしか育たなかったりと、思うようにいかないこともありました。また、同じ場所ばかりに水遣りをする子、花壇に水がかかるよりも自分の足に水がかかる方が多い子もいましたが、全て子どもたちにとっては貴重な経験です。これからも、子どもたちには新しい経験をさせて、同時に豊かな心も育んでいきたいと思っています。

小規模施設主任 安部智美

「小規模施設での取り組みについて」

小規模施設の工事完成が六月末に、実施開始を八月からの予定であり、日がたつのがとても早く、気持ちだけが焦っている状態でした。子ども達にとってここは「家」で、学校から帰ったら、宿題をして一緒におやつや夕食を作ったり食べたり、学校であったことなどを話したりして、どこにでもあるような家庭を描いています。時には泣いたり怒ったりでも、よく笑い声の聞こえる、子ども達の成長と一緒に見守り、喜び合える関係でありたいと思っています。より家庭



に近い環境と、人間関係を持てるような温かくホッとできるような、「家」に出来るよう職員間で、考え話し合いながら、手探りの中で忙しく生活しているところです。自分の子育てが終わりかけ、この経験が少しでも役立つのであれば幸いです。子ども達が自分で家庭を持つたときに、「こんなことしよったなあ。何回も同じこと言われたなあ。」心通い合う人と人の関係をつくっていきけるよう、それぞれ職員のカラーを生かして、かわっていきけるよう微力ながらも、役に立てるようアンテナを張り巡らせて、常に前向きに取り組んでいこうと思っています。

募集中!! 週末ファミリーさん

親の入院や就労等の理由で、週末帰省の出来ない子ども達が居ます。

子ども達を月1回程度外出や外泊等で受け入れて下さる方を求めています。興味のある方、話だけでも聞いてみたい方、気軽に下記に問い合わせ下さい。

・ 087-847-5171

担当 藤田（事務長）または斎藤まで



キャンプで
楽しく過ご



春の陽気に誘われて
満濃公園へお出かけし
ました。

ことがありました



クリスマス会でたくさ
んのプレゼントをいた
だきました。



厳かに卒園式が行われ
ました。



ドッジボールのユニフォームやバックをいただきました。



毎年恒例のす。とてもせました。

この1年 こんな



オリーブガイナースの皆さんと一日を過ごしました。

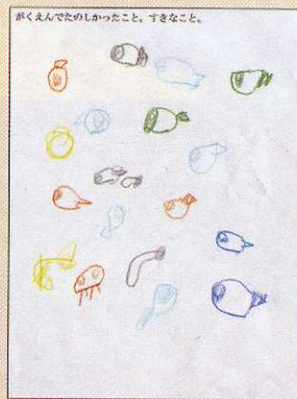


スポレク祭，好記録が続出していました。

うれしかったこと。たのしかったこと。



(M.A 年長)



(S.T 年長)



(H.N 年長)

キャンプに行ったのが楽しかったよ



(T.K 年長)



(Y.R 年長)

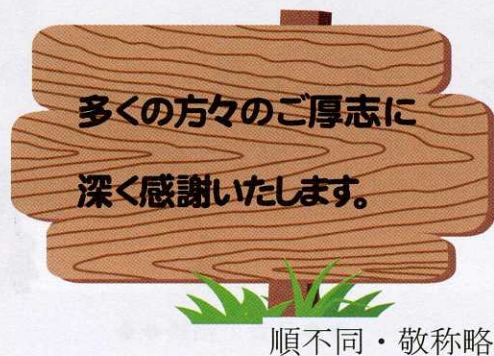


(H.M 年長)



- ・ドッジボールで僕たちのチームが3位になってうれしかったです。練習したかいがありました。(Y.A 小6)
- ・地引き網に行っていていろいろな魚がいてたくさんとれたのがうれしかったです。(M.T 小6)
- ・招待のボーリングが楽しかったです。(T.M 小4)
- ・ガイナースの試合が見られたのがうれしかったです。(Y.Y 小3)
- ・クリスマスで太陽の歌を覚えて頑張って歌いました。(M.M 小2)
- ・みんなでキャンプに行ったのが楽しかったです。(M.Y 小3)





＜招待＞

四国海事広報協会、イーグルハウス興業、藤川設備、松本光春商店、
庵治漁協さくら会、千萬、香川AOU事務局

＜慰問＞

香川県商工労働部にざわい創出課、仲南町日赤奉仕団、東町本若獅子、
小豆更生保護女性会、ジブラルタ生命保険、ワールドメイトエンセル会

＜寄付＞

ダリーズコーヒージャパン、資生堂社会福祉事業財団、全日空ホテルクレメン
ト高松、フジグラン十河、宮本博子、児童健全育成推進財団、ソバハニ、
鶴亀誠治、松本茂、NYグループ高栄通商、徳田恒光、アイゼン上之町
店、明治乳業四国支店、東光学園、香西利和、久保浩道、チロリン
村、高橋國光、ワイズカンパニー、アイゼン片原町店、フルーツハスイ、高松東
ライオンズクラブ、川田秀秋、久米池うどん、栄光寺、横山治郎、旭商工、
柴田廣子、六車敏久、宮宇地すみ子、黒川商店、森永乳業今里販
売所、猪崎武典、エースライン、松成一市、鎌田忍、岩崎和義、田中隆
男、日向敏子、中川郁子、真木正子、田端英二、四国コカコーラボトリ
ング、弘海寺、渡辺久子、白井秀昭、フットボールライフ編集部、池田宗弘、
吉川正男、佐久間晴枝、東町本若獅子、森高塗料、黒川勝、ときわ
会、香川県看護協会、野田組、小豆更生保護女性会、佐々木さよ
子、ディスタントビュー、前田婦人会、横井博子、日本レコード協会、岡野美
智子、岡野朱里子、松本光春商店、エイエヌジー生命保険、大嶋裕一、
山口克己、山口美芳、三菱東京UFJ銀行、神原博、小田裕美、日
本餅餅協会、六車政武、新生銀行高松支店、平井一也、平井寿
子、藤澤邦子、小山ハツエ、四国新聞社、吉田孝平、サニクリーン四国
高松営業所、旭商工、広瀬石油、辻造船鉄工所、トミタ、小川あつ、遊
美堂、西日本高速道路、萬生寺、香川銀行、大森繁、植松康弘、
谷内啓志、豆芳、香西良人、魚政、三越労働組合高松支部、門司
一徹、第一生命保険相互会社観音寺第一支部、本藤好美、藤
澤吉久、湊和親、はていや製綿所、岩崎幸二、アステイス労働組合、三
友、アフラックアソシエツ会、渡里幸平

共同募金 平成19年度使途の助成金

- ①トヨタ普通乗用車（公用車）
- ②ガス回転釜（大型）
- ③業務用スチームコンベクションオープン

平成18年度決算報告書

事業活動収支報告書

自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日

(単位: 円)

介護保険収入	0
利用料収入	124,700
措置費収入	165,145,110
運営費収入	0
私的契約利用料収入	0
経営経費補助金収入	1,325,810
寄付金収入	4,975,230
雑収入	11,195,443
借入金元金償還補助金収入	0
引当金戻入収入	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	10,659,639
事業活動収入計(1)	193,425,932
人件費支出	116,246,852
事務費支出	13,667,117
事業費支出	40,229,106
減価償却費	16,583,233
徴収不能額	0
引当金繰入	652,473
事業活動支出計(2)	187,378,781
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	6,047,151
借入金利息補助金収入	483,000
受取利息配当金収入	40,714
会計単位間繰入金収入	0
経理区分間繰入金収入	3,640,000
投資有価証券売却益	0
有価証券売却益	0
事業活動外収入計(4)	4,163,714
借入金利息支出	623,000
経理区分間繰入金支出	1,829,588
投資有価証券売却損	0
有価証券売却損	0
資産評価損	0
雑損失	0
事業活動外支出計(5)	2,452,588
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	1,711,126
経常収支差額(7)=(3)+(6)	7,758,277
施設整備等補助金収入	0
施設整備等寄付金収入	350,000
固定資産売却収入	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	1
その他の特別収入	0
特別収入計(8)	350,001
基本金組入額	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0
固定資産売却・処分損	72,682
その他の特別損失	0
特別支出計(9)	72,682
特別収支差額(10)=(8)-(9)	277,319
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	8,035,596
前期繰越活動収支差額(12)	102,074,299
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	110,109,895
基本金取崩額(14)	0
基本金組入額(15)	0
その他の積立金取崩額(16)	0
その他の積立金積立額(17)	9,000,000
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	101,109,895

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位: 円)

資産の部	負債の部
流動資産	流動負債
現金預金	33,331,121
短期貸付金	6,893,991
その他の現金預金	0
有価証券	0
未収金	0
未収補助金	0
貯蔵品	0
立替金	0
前払金	0
短期貸付金	0
仮払金	0
その他の流動資産	0
固定資産	固定負債
基本財産(固定資産)	0
建物	0
土地	0
基本財産特定貯金	0
その他の固定資産	0
建物	0
構築物	0
機械及び装置	0
車両運搬具	0
器具及び備品	0
土地	0
建設仮勘定	0
権利	0
投資有価証券	0
長期貸付金	0
公益事業会計元入金	0
収支事業会計元入金	0
措置施設維持特定預金	0
その他の積立貯金	0
その他の固定資産	0
清算の部合計	0

※編集上の諸事情から報告が滞りましたことをお詫び申し上げます。

讃岐学園ケアサービス案内

◆◆ショートステイ◆◆

(家庭養育支援事業)

保護者が、病気・出産・出張・事故などのために家庭で子どもを養育することが難しくなった場合、一時的にお子さんを保護し、養育します。

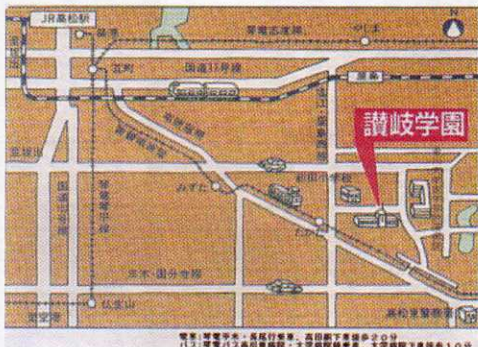


◆◆トワイライトステイ◆◆

(父子家庭等児童夜間養護事業)

父子家庭等で、お父さんが仕事のためにいつも帰宅が遅く子どもを養育するのが難しい場合、お仕事が終わるまでお子さんをお預かりし、生活指導や夕食の提供を行います。

<案内図>



地域の方々が気軽に利用できるサービスを提供したいと考えています。
各サービス事業について詳しく知りたい方は、お気軽にお電話ください。

◆◆母子緊急一時保護◆◆

緊急時お母さんとお子さんを一時保護します。



◆◆子育て相談◆◆

(児童育成相談事業)

当園は子どものお世話だけでなく、保育士・心理療法士等が地域の方々からの相談に応じています。子育てに関する悩み・不安など、お気軽にご相談ください。相談は無料です。予約制になっておりますので、まずはお電話にてご連絡ください。



<連絡先>

〒761-0322

香川県高松市前田東町569-2

児童養護施設 讃岐学園

TEL(087) 847-5171

FAX(087) 847-5173

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp/>

E-mail sanu5171@bird.ocn.ne.jp

ボランティアのお願い

児童養護施設では、1歳から18歳までの子どもたちが生活しています。当園では、子どもたちと一緒に遊んだり、小・中・高校生に勉強を教えたりして下さる方を募集しています。関心のある方、子ども好きな方、ぜひご連絡ください。

編集後記

今年度は「新しい出発」をテーマに取り上げました。寮体制を変更し、今まで以上に子どもたちが健やかに成長できるよう職員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。今度も温かいご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

～温泉水を提供しています～

当園の敷地内には温泉水が出ています。
容器を持参してご自由にお持ち帰りください。
無料です。詳しくは事務所まで
時間は毎日10時～16時まで

<泉質>ラドン系単純弱放射性冷鉱泉
<適応症等>



浴用：神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、慢性
消化器病、痔症、冷え性、疲労回復、痛
風、動脈硬化症、高血圧症、慢性胆嚢炎、
胆石症、慢性皮膚病、慢性婦人病など
飲用：神経痛、筋肉痛、関節痛、痛風、慢性消
化器病、慢性胆嚢炎、胆石症

※なお、営業用に使用することはお断りします。